

平成20年度神戸市民1万人アンケートの調査結果（抜粋）

1. 調査の目的

市民1万人に対してアンケート調査を実施することにより、市民の意識や日常生活における活動などを把握し、今後の計画や施策立案の基礎資料とする。

2. 調査対象

20歳以上の神戸市民10,000人

3. 実施時期

平成20年6月13日（金）～6月30日（月）

4. 実施テーマ

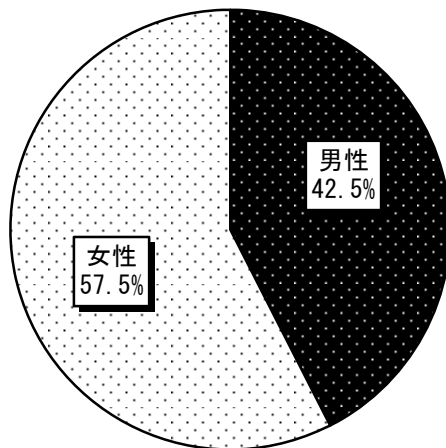
「一人ひとりの市民が主役のまち」の実現のために

5. 回収状況

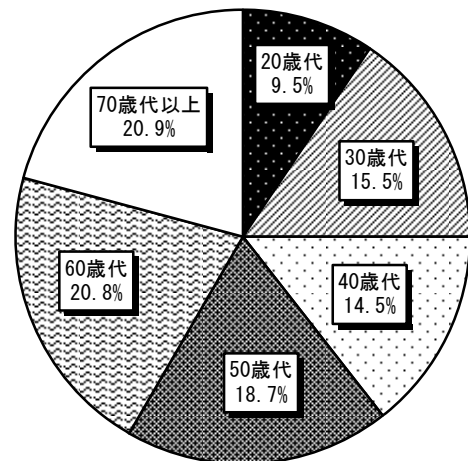
回答者数 5,073人（回収率50.7%）

6. 回答者の属性

①性別（N=4,905）

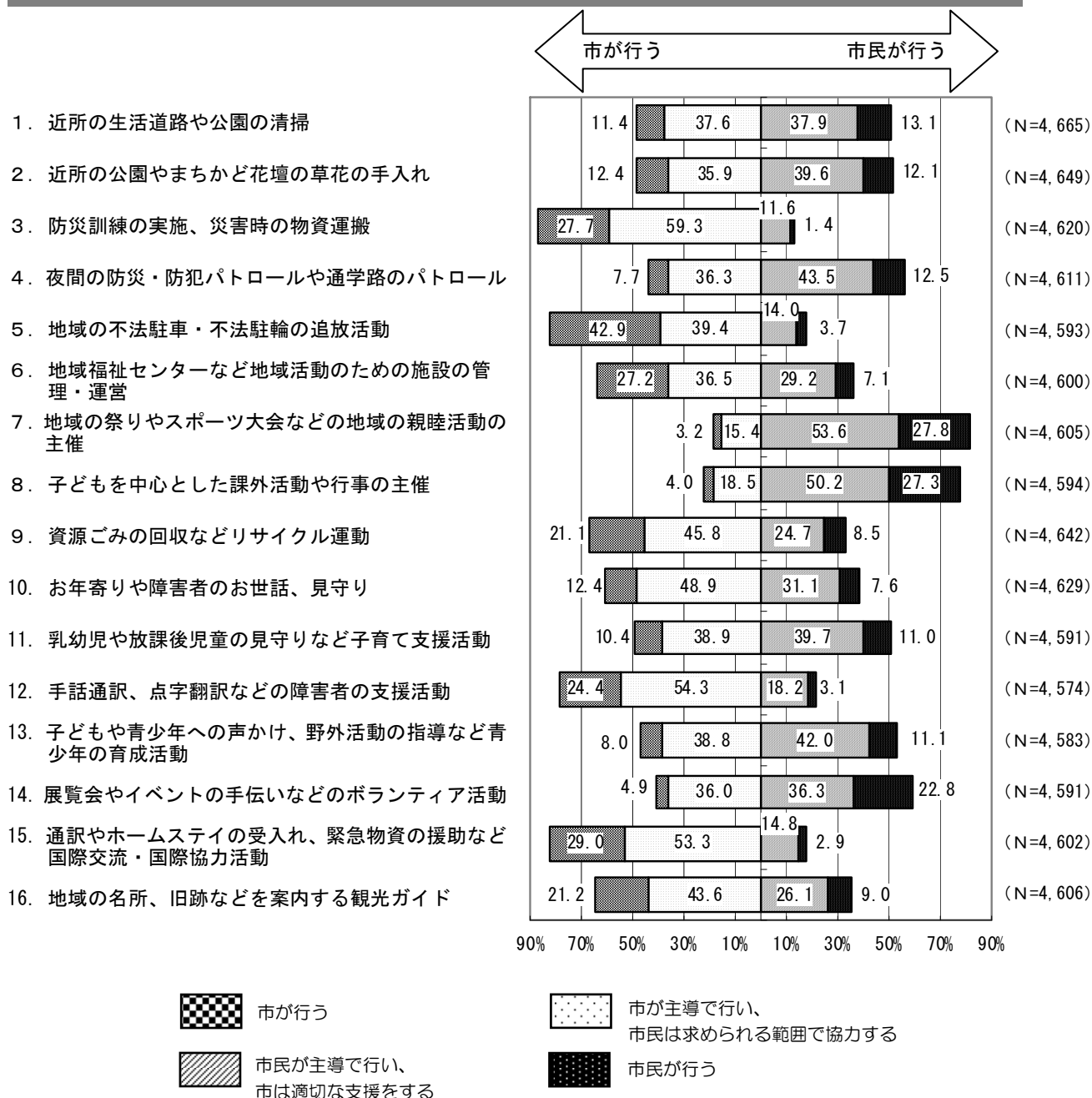


②年代（N=4,923）



1. 地域活動における「市民と市の役割」について

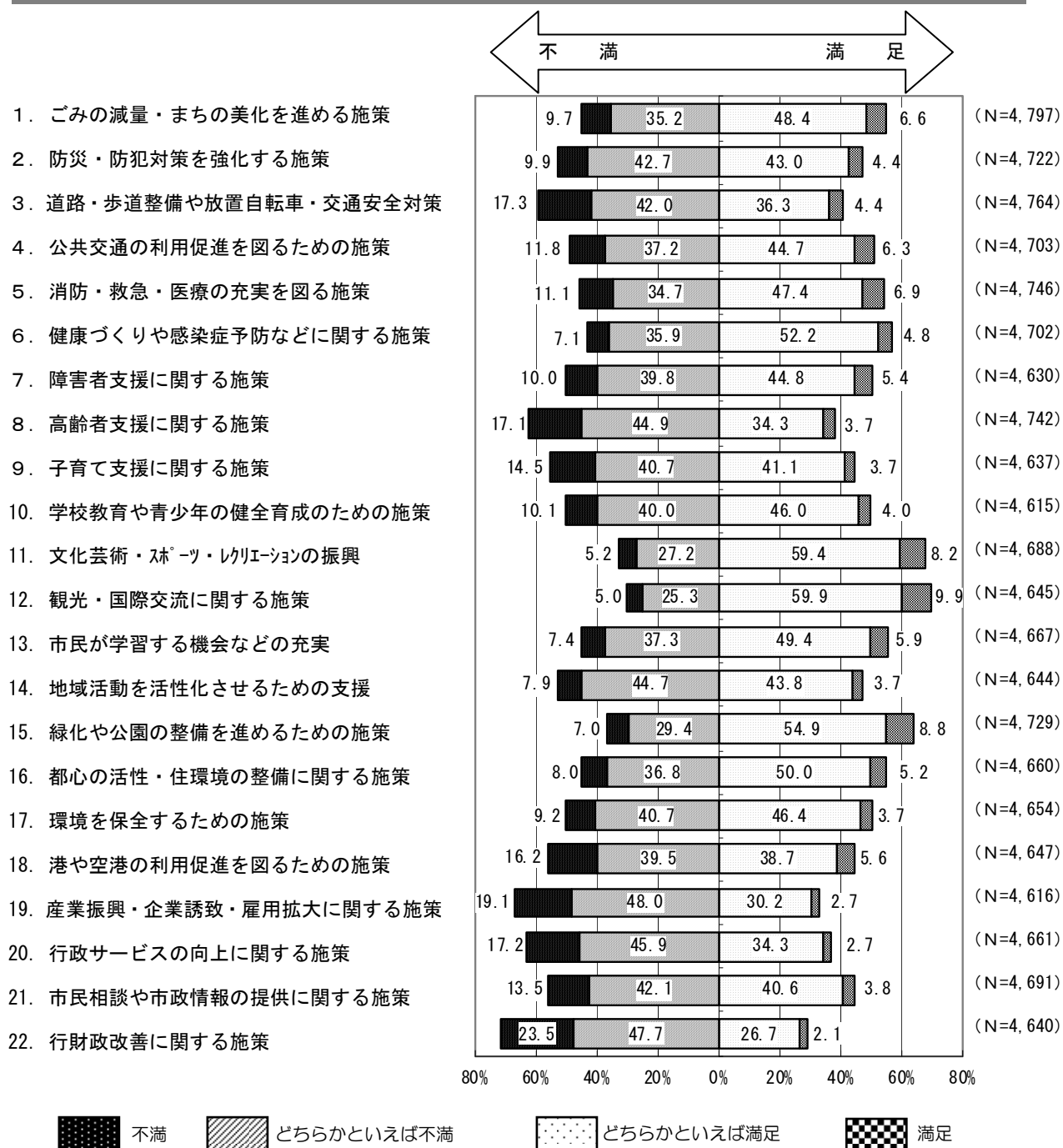
問1. 次の1～16までの活動について、あなたのお住まいの地域で行う場合、主に市民と市のどちらが行うべきだと思いますか。それぞれあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけて下さい。



・「7. 地域の親睦活動の主催」、「8. 子どもの課外活動や行事の主催」は、「市民が行う＋市民が主導で行う」の方が特に高く7割を超えている。逆に「3. 防災訓練の実施、災害時の物資運搬」、「5. 地域の不法駐車・不法駐輪の追放活動」、「12. 障害者の支援活動」、「15. 国際交流・国際協力活動」は「市が行う＋市が主導で行う」の方が特に高く7割を超えている。

2. 神戸市の施策や事業の「現状評価」について

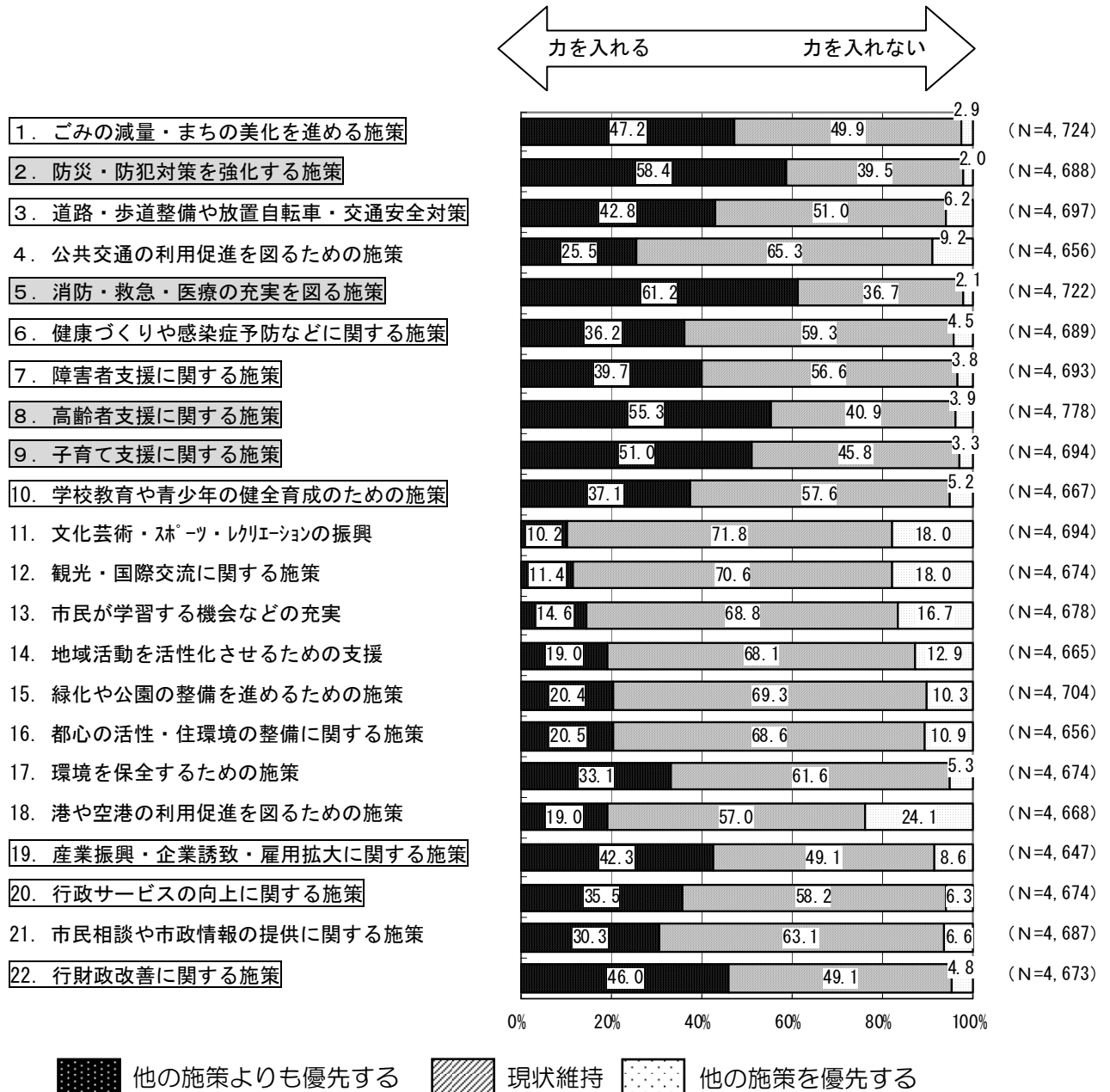
問2. 「協働と参画のまちづくり」を進めるために、神戸市が行っている施策や事業22項目の「現状の評価」について、それぞれあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけて下さい。



- ・「12. 観光・国際交流」「11. 文化芸術・スポーツ・レクリエーション」「15. 緑化や公園の整備」の順に、「満足+どちらかといえば満足」の割合が高くなっている。逆に、「22. 行財政改善」「19. 産業振興・企業誘致・雇用拡大」「20. 行政サービスの向上」の順に、「不満+どちらかといえば不満」の割合が高くなっている。

3. 神戸市の施策や事業の「今後の要望」について

問3. 「協働と参画のまちづくり」を進めるために、神戸市が行っている施策や事業22項目の「今後の要望」について、それぞれあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけて下さい。



- ・「他の施策よりも優先する」の割合は、「5. 消防・救急・医療」「2. 防災・防犯」の順に高くなっている。
- ・「現状維持」の割合は、「11. 文化芸術・スポーツ・レクリエーション」「12. 観光・国際交流」の順に高くなっている。
- ・「他の施策を優先する」の割合は、「18. 港や空港」「11. 文化芸術・スポーツ・レクリエーション」「12. 観光・国際交流」の順に高くなっている。